

平成 28 年 3 月 18 日  
沖縄電力株式会社

## 沖縄本島と渡嘉敷島間における海底ケーブルの 運用開始について

当社は、渡嘉敷島をはじめとする慶良間諸島（渡嘉敷村・座間味村）における電力の安定供給の確保等を目的に、平成 27 年 5 月より沖縄本島と渡嘉敷島間において海底ケーブル敷設工事を進めてきました。本日、同海底ケーブルの運用を開始しましたのでお知らせいたします。

これまで慶良間諸島への電力供給は石油を燃料とする内燃力発電（渡嘉敷発電所）で行っていましたが、同海底ケーブルの運用開始により、石油・石炭・液化天然ガス（LNG）を燃料とする本島系統へ連系するため、燃料多様化によるエネルギーセキュリティの向上を図ることができます。また、既存の発電設備を残すことで、供給方法が二重化され、供給信頼度の向上を図ることができます。

なお、当該工事は沖縄県の小規模離島電力安定供給支援事業補助金を活用して実施しております。

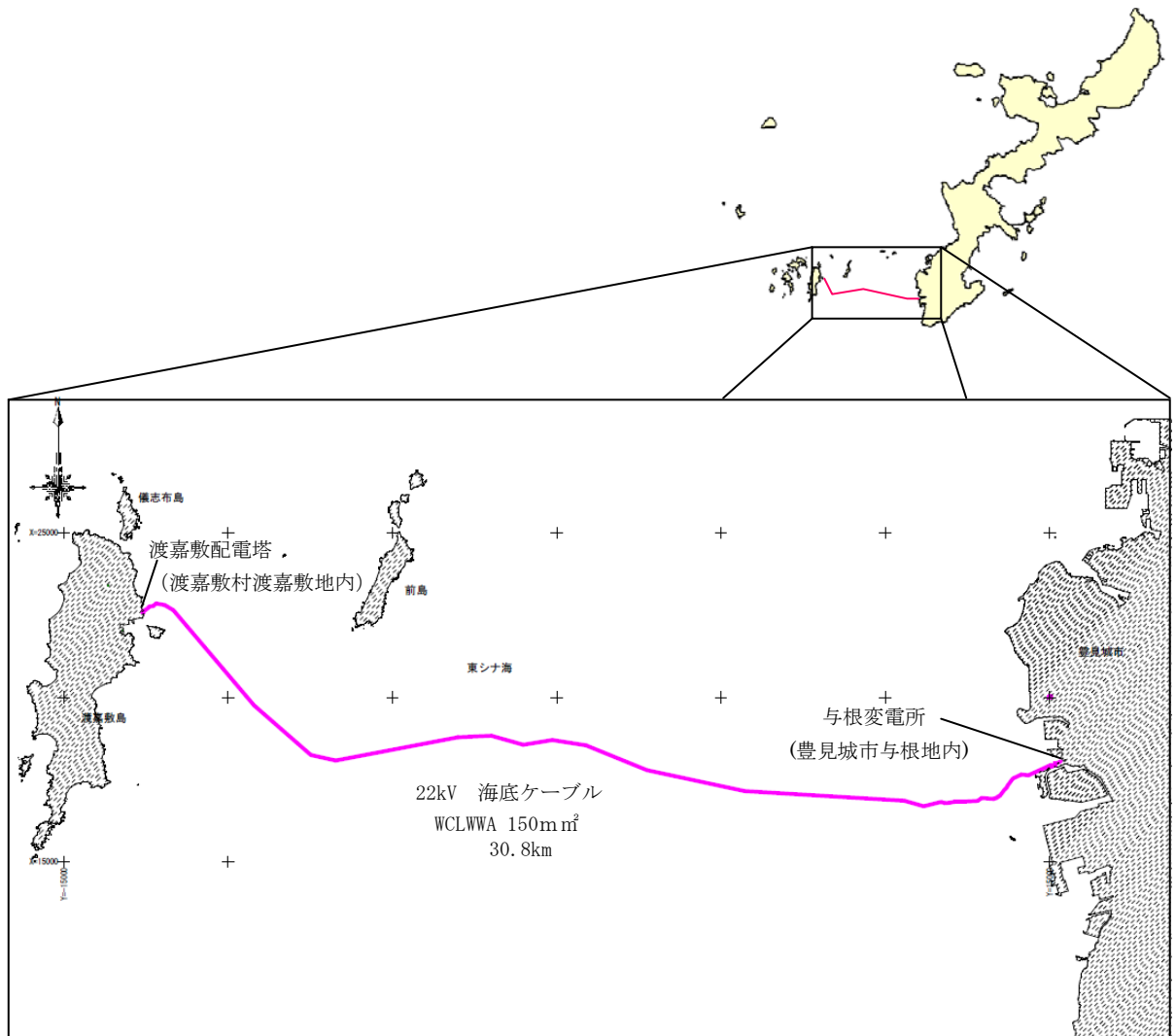
### <沖縄本島～渡嘉敷島間 海底ケーブル設備の概要>

1. 名 称：ケラマ線 1 号
2. 敷 設 場 所：豊見城市与根～渡嘉敷村渡嘉敷
3. 送 電 電 圧：22kV
4. ケーブル長：30.8km（送電電圧 22kV 級では国内最長）
5. 主 な 経 緯：
  - ・平成 27 年 5 月 敷設ルート調査着工。
  - ・平成 27 年 12 月 19 日～23 日の 5 日間で、ケーブルを豊見城市与根から渡嘉敷島へ向けて敷設。
  - ・平成 28 年 3 月 18 日 与根変電所から送電開始。

添付：海底ケーブル設備の位置図と敷設状況

以上

<海底ケーブル設備の位置図>



<敷設状況>



[写真 1 敷設専用台船による敷設工事の様子]



[写真 2 海底ケーブル敷設状況]